

広報みはま

TOPICS

- 新年のごあいさつ
- 年男・年女の皆さんの新年の一言
- 協働のまちづくり
- 町の環境問題への取り組み
- 美浜発電所の状況

Jan.2009

1

No.456

を申し上げます。



町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様方には希望に満ちた新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、現在、世界経済は、アメリカの金融問題に端を発し、百年に一度の経済危機と言われる混乱に陥っています。この影響により、日本経済も景気後退に入り、大手企業の経営悪化が懸念され、雇用問題をはじめ経済的な弱者対策が喫緊の課題となっております。本町でも、昨年末に全課長による連絡会議を緊急に開催し、本問題の情報を収集するなど、今後の町内の状況把握に努めてまいりたいと考えております。

このような社会情勢の中、本町では、第四次美浜町総合振興計画に基づき「自然かがやき 人いきいきまちがにぎわう 美し美浜」の創造を目指して、町民の皆様への参画をいただきながら本年も将来を志向したまちづくりを着実に進めてまいりたいと考えております。

まず、美しい自然と共生するまち

づくりのために、美浜町環境基本計画及び美浜町環境基本条例に基づき、町民や事業所の皆様と行政が相互に連携を図りつつ、それぞれの立場で環境活動に取り組んでいく実践の年としたいと考えております。

さらに、安全・安心で快適に暮らせるまちづくりについては、今春には国道27号美浜東バイパスの全線が完成し交通の利便性が一段と高まります。今後ともバイパスの4車線化と併せて舞鶴若狭自動車道等の整備促進に努めてまいりたいと考えております。

また、下水道の整備については、平成21年度をもって完成することとなり町内全域において、等しく快適な生活環境が図られることとなります。

健やかでぬくもりのあるまちづくりのために、町内保育園の再編に伴い昨年からの建設を進めてまいりました「あおなみ保育園」が本年2月に完成することとなっております。また、本年から若者定住対策の一環として小子化対策を更に充実させることとしており、本町で「子育てしたい」「住み続けたい」と実感できる子育てサポート対策を進めてまいります。

元気ににぎわいのまちづくりのためには、基幹産業である農林水産業に本町特有の教育施設や歴史・伝統芸能とも連携した体験型観光の推進を柱とした交流人口の拡大を図ってまいります。この取り組みの一環として本年3月には、「全国ほんもの体験フォーラム」が本町で開催されることとなっております。

全国各地から多くの皆さんが訪れてくれることを期待しております。

また、整備を進めております松原地係の産業団地には、本年4月頃に「関西電子ビーム株式会社」の進出が見込まれております。今後も引き続き、町の雇用対策や活性化のため優良企業の誘致に努めてまいりたいと考えております。

さらに、原子力対策については、安全安心を最優先としつつ町民の皆様のご理解をいただきながら積極的に推進していく所存であります。

次に、こころ豊かな人を育むまちづくりについては、エネルギー環境教育のより一層の実践を進めていくとともに、美浜中学校が8月に完成の予定であり、更なる教育環境の充実を図ってまいります。また、国吉城址公園整備のガイダンス施設については、3月に完成することとなっております。

なお、「美し美浜」を創造するための大きなテーマである「協働」に向けた共通意識の形成と仕組みづくりについては、昨年11月に検討委員会から提言をいただきました「協働のまちづくり基本方針」を十分尊重して、町民の皆様にも方針の趣旨と内容を広く周知し啓発を図りながら、協働のまちづくりの積極的な実行に努めてまいりたいと考えております。

年頭にあたり、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、今後の町政にご支援賜りますようお願い申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

謹んで新春のお慶び

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、町政に対するあたたかいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。お陰をもちまして昨年は「企業誘致元年」といふべき年となり、町内で二社が操業開始、専門学校一校が開校いたしました。

平成21年には、地域に根ざし、子ども達の豊かな心を育む「あおなみ保育園」と、特色ある中等教育施設として充実した設備を有する「美浜中学校」、そして、郷土の歴史・文化に触れる「国吉城ガイダンス施設」が完成いたします。

保育園は人間形成の基礎を培う場であり、中学校はその基礎の上に知恵や経験を授け、生きてゆく力を育む場があります。また、国吉城ガイダンス施設

は郷土の歴史を知るとともに、郷土への愛着を深める場となるでしょう。

人を思いやる心、ふるさとを思う心、よりよい未来を志向する力、これらすべて学ぶことから生まれます。人が学ぶための環境を整える本年の施策は、「こころ豊かな人を育むまち」に向けての第一歩であり、将来、わが町に大きな実りをもたらしてくれることを確信しております。

地方分権時代の到来、少子高齢化の進行、ライフスタイルの多様化、そして環境意識の高まり等、町政を取り巻く情勢は極めて厳しく、美浜町のより良い未来を築くためには町民の皆様と行政が手を携え、協働でまちづくりを進めていただくことが必要です。

町民の皆様一人ひとりの力をまちづくりを活かしていただくためにも、皆様と行政が信頼の絆で固く結ばれるように働きかけること、これがこれからの町議会に求められる大切な役割であると考えます。そのためにも、私たちは、皆様のご意見などを町政に反映できるよう、議会に課せられた役割を常に自覚しながら、互いに議論を交わり、信頼される議会運営に努めてまいります。

結びに、魅力ある美浜町をつくるため、本年も町議会に対しより一層のご支援・ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。ご挨拶いたします。



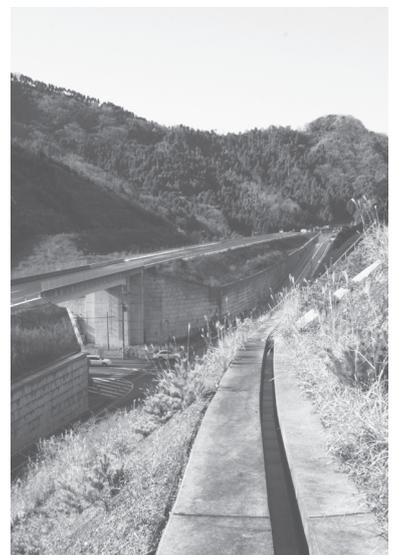
美浜町議会議長
中村 清一



△本年8月に完成予定の「美浜中学校」(左・校舎/右・体育館)



△本年2月に完成する「あおなみ保育園」



△今春完成する
「国道27号美浜東バイパス」